

「空コン搬入で時間ロス」

大ト協海コン部会 実態調査へ

大ト協海上コンテナ部会（山口与那雄部会長）は6月7日、研修センターで役員会を開き、空コンテナ搬入時に汚れなどの指摘を受けたため並び直さなければならぬなどターミナルで大きな時間的ロスが発生しているケースがあるとして、実態把握のため部会員にアンケート調査する方針を決めた。

山口部会長（近畿木材運輸）によると、ターミナル前で搬入の順番待ちをしたあと空コンテナを返却するが、汚れなどを指摘され、引き渡しできないケースがある。返却コンテナの清掃は輸送事業者の責任ではないため、ターミナルで引き渡すできなかったコンテナは荷主や船社に回送、改めてターミナルに搬入するため順番待ちし直しているのが実態だ

国土交通省が荷待ち時間の料金化方針を打ち出したのを受けて、海コン事業者のこうした時間的ロスの実態を調べ、ターミナルや荷主などに改善を促すのが目的。同部会では7月の役員会でアンケート調査の内容を話めたあと、全部会員を対象に調査表を送付する。この日の役員会では23日に予定する通常総



大ト協海上コンテナ部会の役員会

会について細部の詰めを行う一方、前日に訪問した大阪市港務局との協議内容なども報告した。

大阪市港務局にはストックヤードの設置を求めてこれまで上橋將

義副部会長（泉州物流サービス）が中心となつて話し合いを進めて部会長らがそろって表敬訪問した。

者が代わったため改めて山口部会長と上橋副